

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	13-325	慶應義塾大学
題名 (原題/訳)		
Lack of efficacy of dextromethorphan in managing alcohol withdrawal: a preliminary report of a randomized, double-blind, placebo-controlled trial. アルコール離脱を管理する目的のデキストロメトルファン ¹ の効能の欠如: 予備的な無作為二重盲検プラセボ対照試験。		
執筆者		
Huang MC ¹ , Chen CH, Pan CH, Lin SK.		
掲載誌		
J Clin Psychopharmacol. 2014 Feb;34(1):149-52.		
キーワード		
デキストロメトルファン、アルコール離脱、無作為二重盲検プラセボ対照試験		
要 旨		
<p>アルコール離脱症候群は、中枢神経における増加した N-メチル-D-アスパラギン酸 (NMDA) 受容体へのグルタミン酸塩の伝達を伴う。グルタミン酸塩の放出を減らすか、NMDA 受容体の過剰活性化を妨げる薬物は、アルコール離脱症候群の治療に有効であることが示されている。鎮咳剤として広く使われているデキストロメトルファン (DXM) は、低親和性の潜在的神経保護の特性をもつ非競合性 NMDA 拮抗剤である。</p> <p>本研究は、無作為二重盲検プラセボ対照研究デザインを使用し、急性アルコール離脱の管理における DXM の有効性を調査した。Revised Clinical Institute Withdrawal Assessment for Alcohol (CIWA-Ar)の上でスコアが 10 より大きく解毒治療のために入院している中等度のアルコール離脱を経験しているアルコール依存症患者に DXM 360mg/日またはプラセボを二重盲検法で 7 日間投与するよう無作為に割付けた。</p> <p>すべての被験者は DXM またはプラセボの初回投与とともにロラゼパム 2mg の投与を受け、引き続いて症状が引き起こされて行う解毒手順に従ってロラゼパム (1mg) を救出薬物として投与された。アウトカムの尺度として、ロラゼパムの平均総投与量、CIWA-Ar の経時的なスコアと Obsessive-Compulsive Drinking Scale によって評価されるアルコール渴望が測定された。</p> <p>40 人の被験者が検査を完了し、DXM 群が 18 例とプラセボ群が 22 例であった。プラセボと比較して、DXM 使用群で離脱症状をコントロールするためのロラゼパムの用量が低くはないことが判明した。CIWA-Ar と Obsessive-Compulsive Drinking Scale スコアの進行も 2 群間で同等であった。</p> <p>この予備的な調査結果では、アルコール依存症患者の離脱症状を治療するためにベンゾジアゼピンの必要を減らす上において、高用量 DXM が有効であることを支持するものではなかった。</p>		